

# ぬくもり



第 1 号  
稚内市子育て推進協会  
事務局  
稚内市教育委員会  
社会教育課 (23-6520)



## 「宗谷教育講演会」を開催!

### 感動的に子育てを学び合いました

七月七日(金)、稚内総合文化センター大ホールにおいて、平成二十九年度の「宗谷教育講演会」を開催しました。子育て全市交流会と市連合PTA研究大会も兼ねて行われたもので、保護者、教職員をはじめ稚内市民約五百人が参加しました。

開会にあたり、主催者を代表して、表稚内市教育長が挨拶を行いました。講師は、宮城県の中学校の教師を経て、現在は文部科学省の調査官である長田徹(おさだとおる)氏。六年前の東日本大震災を経験し、子どもと教育をめぐる人と人との絆の大切さ、子育ても教育も大人が子どもに寄り添いながら、子どもを励ますことが大切であることを強調されました。特に、震災に関する経験談では会場の参加者の感動を呼んでいました。



涙あり、笑いあり、会場を感動で包んだ講演会でした



#### 震災を通じて学んだこと 役に立ちたいという子どもの気持ちを大切に

大震災のとき、子どもたちは、人のため、地域のために何ができるのかを自ら考え、動き始めたこと。普段、先生が子どもたちに言い続けた言葉が、いざという時に役に立ったこと。そして、普段から学校が保護者・地域とつながっていること、子どもたちに素敵な大人の姿を見せることなどが、子どもの可能性を育てることにつながると話して頂きました。

講師の長田先生は、昨年の全道PTA研究大会(帯広市)で全体講演を務めました。その講演を聴いたPTAの役員さんが「長田講演をぜひ、稚内」でという思いで、今回の取り組みの先頭に立っていただきました。今回の取り組みを通じて、各PTA、学校・学年で豊かな取り組みが展開されました。

講師の長田先生。「こんなとき、お子さんにどう声をかけますか?」と具体例をあげながら、参加型の講演をすすめて頂きました。

#### 参加者の感想から

講演終了後、参加者から寄せられた感想をいくつか紹介いたします。

- 涙が止まりませんでした。帰宅したら子供にも話したいと思います。
- 宗谷がこれまで大切にしてきた「地域・学校・家庭との連携」が確かなものであると嬉しく思いました。
- 何かあつてからでは遅い、本当に今からひらかれた地域、学校、PTAで子供たちのために動くべきだと思いました。

## 九月一日は、「子育て」と「平和」を考えました

どこまでも広がる澄み切った青空。九月一日(金)の子育て平和の日記念式典が、宗谷岬公園の「祈りの塔」前の会場で関係者および市内の児童・生徒の代表も参加して開催されました。

三十四年前の九月一日、大韓航空機が旧ソ連の戦闘機の攻撃を受け、稚内の目の前の海に墜落するという大事件が起きました。その三年後、稚内市は世界の平和と子どもたちの健やかな成長を願う「子育て平和都市」を宣言し、次の年には「世界平和の鐘」「子育て平和の鐘」も設置されました。そして、稚内市は、この日を大韓航空機事件を忘れず恒久平和を祈願する日として大切にしてきました。

今年も、大韓航空機事件の遺族会の代表として静岡県から川名正洋さんが参加されました。工藤市長の挨拶に続き、川名さんからも「事件を風化させてはいけません。稚内市のこの取り組みに感謝している。」と語られました。

続いて、「子育て平和都市宣言文」を連合PTA母親委員会を代表して、港小保護者の小川さんが朗読、子育て平和の意義については、稚内市校長会の館野会長が説明しました。

最後に、平和の決意表明を市内の小中学校を代表して、六名の児童・生徒が行いました。



6名の代表の子どもたちが平和への思いを立派に発表しました

左から、中央小・高橋君、南中・吉田さん、声問小・杉山君、潮見中・高橋君、天北小・高橋君、宗谷小・虎谷君



# 児童会・生徒会の活動を

## 子ども会議で交流しました

七月十四日、今年度一回目の子ども会議が社会教育センターで実施されました。小学生三〇人、中学生二〇人、計五〇人が参加して、「一人ひとりが主役となり、楽しく、笑顔あふれる学校にしよう」をテーマに、各学校の児童会・生徒会の活動交流を行いました。



講評する小林校長（宗谷中）

## 楽しい学校にするために（小学校の交流から）

小学校は、六グループに別れて話し合いました。ほとんどの子どもたちが初対面であることから、話しやすい雰囲気をつくるため、簡単なゲームやユニークな自己紹介からスタートしました。楽しい学校にするために、児童会がどのような活動をしているのかを交流しまし



開会挨拶をする表教育長

た。児童会の取り組みや学校自慢、子どもたちの様子や課題・悩みなどを交流した後、互いの学校に対する質問を出し合い、良い点や参考になることなどを学びあいました。これからの児童会活動をすすめる上で子どもたちが、自信が持てる機会になったと思います。



小学校のグループでは、交流を通していろいろな学校の取り組みを学びました



中学校のグループでは、いろいろな学校の取り組みが聞けて良かったという声が出ていました

## 生徒会の活動を学びました（中学校の交流から）

中学校は、四グループに分かれて、生徒が司会を務めました。生徒会活動の交流から始まり、学校ごとの課題も出し合い、これからどう改善するか、お互いの考え・意見を出し合いました。「目標を立てて取り組んでみる」「みんなが団結できる工夫を考える」等々、積極的な意見が出されました。

## 今年も平和の願いを折り鶴に込めて

### 「平和折り鶴まつり」を開催

七月二十八日から八月十日まで、中央商店アーケード街において、「平和折り鶴祭り」を開催しました。今年で三〇回目となり、市内の各学校で平和学習の一つとして全児童・生徒が取り組みました。また、市内の各事業者や団体・個人からも、折り鶴が寄せられました。今年は、二十万三千羽の折り鶴が二週間飾られ、広く市民の皆様に関心を持って頂くようアピールできたと思います。



## 快晴の下、平和マラソンで

### 子どもも大人も走りました

今年の平和マラソンは、天候にも恵まれ、小学生、中学生、そして親子の部の参加も含めて、市内の小中学校の子どもたち約千百人が、完走めざして走りました。来年からフルマラソンを導入することもあり、北防波堤ドームをスタートして、ノシャップ岬に向かう海岸沿いの道路を折り返してのコースとなりました。子どもたちは、全力でゴールめざして駆け抜けていきました。



小学生 2km を元気よくスタートする子どもたち



## 中学生が医療探検講座に挑戦！

八月十日、市立稚内病院において、「中学生医療探検講座」が開催されました。主催は、市立稚内病院で、校長会、教頭会、市連P、青年会議所、子育て推進協、そして地域医療を考える稚内市民会議が後援となりました。

参加したのは市内の中学生二十六名（一名は小学生）です。午前十時から午後三時まで、国枝院長先生の講話から始まり、医師、看護師、作業療法士、栄養士の病院のスタッフが講師となり、「手洗いの大切さ」「医療スタッフの仕事」「入院給食」「医師の仕事」などについて学びました。

さらに、内視鏡や心肺蘇生、簡単な切開や縫合、そして採血などの実技研修も体験することができました。

「将来、医者になりたいと考えている」「看護師になって役に立ちたい」という子どもたちの夢を応援する取り組みであり、子どもたち自身が夢に向かってがんばろうとする機会にもなりました。



国枝院長による講話を真剣に聞く子どもたち

## 今後の「子育て推進協」の事業について

稚内市子育て推進協議会では、今後の主催および関連事業を次のように計画しています。

- 第2回子ども会議（11月10日/金）
- 「子育て提言」を根づかせる取り組み（12月中に実施予定）
- 元日・子育て平和の鐘 鐘打式（1月1日）
- 全市子育て運動交流研修会（2月9日）
- 子育て新聞「ぬくもり」発行（年3回）

